

8-1-4 対外活動委員会WG（道路会社）

1. 対外活動委員会 WG（道路会社）の概要

(1) WG（道路会社）の活動目的

毎年度、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、及び首都高速道路(株)との意見交換会のために、建設コンサルタントの現状と課題を踏まえて、道路会社に対する「要望と提案」とその根拠資料としての【調査資料集】を作成する。

(2) WG の構成（委員）

WG 長には対外活動委員会副委員長があたり、対外活動委員会から道路会社担当委員 2 名、道路会社業務検討 WG、技術部会から道路専門委員会、道路構造物専門委員会、施工管理専門委員会の委員長・委員を中心にメンバーを選出し、10 名程度の体制での WG 構成とする。

2. 主な活動の記録

(1) WG の開催（WEB 会議方式）

令和3年8月27日に第1回WG、10月12日に第2回WGを開催した。各専門委員会で実態調査・意見集約した結果や、別途実施されている道路会社業務検討WGによる発注者との実務者検討会での検討課題等を整理し、各道路会社向け「要望と提案」及び【調査資料集】を検討・作成した。

(2) 対外活動委員会での協議

上記WGで検討した「要望と提案」及び【調査資料集】については、10月の対活・白書合同委員会で協議して、内容を詰めた。

(3) 意見交換会の開催

4つの道路会社との意見交換会については以下の日時において集合形式で開催された。

10月26日：東日本高速道路(株)

11月2日：西日本高速道路(株)

12月7日：中日本高速道路(株)

12月14日：首都高速道路(株)

3. 各道路会社向け「要望と提案」の骨子

意見交換会に用いた「要望と提案」は次のとおりである。

I. 担い手の確保・育成のための環境整備

- (1) 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組み推進・強化
 - ① 履行期限（納期）の平準化と標準履行期間の確保への取組み強化（東・中・西）
 - ② 受発注者協働によるワークライフバランスの更なる改善に向けての施策の推進・強化（東・中・西・首）
 - ③ BIM/CIM 活用による建設生産・管理システム全体にかかる生産性向上への取組み（東・中・西・首）
- (2) 受発注者協働による災害対応に向けた継続的な環境整備
 - 被災地域に対する迅速かつ適切な災害対応と改正労働基準法遵守との両立（東・中）
- (3) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備
 - ① 設計変更ガイドラインの周知徹底（首）
 - ② 実態に即した適切な費用計上（首）
 - (4) 建設コンサルタントがネクスコ業務の実施能力を維持・確保するための企業経営の安定と処遇改善に向けた環境整備
 - ① インフラ整備の中長期的事業計画の策定・公表と安定的な事業量の確保（東・中・西）
 - ② 技術者単価の継続的な引き上げと実態に即した歩掛・積算体系への改善及び整備、適切な費用計上（東・中・西）
 - ③ 「設計変更ガイドライン」の補足資料の策定と適切な設計変更（東・中）
 - ④ 新規工種の設計変更における適用落札率の適正化（西・首）
 - (5) 人材確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備
 - ① 若手技術者・女性技術者の活用・育成のための入札・契約制度の工夫改善の継続（東・中・西・首）
 - ② シニア人材の活用のための制度改善（東）

II. 技術力による選定

- プロポーザル方式の採用の継続（東）
- プロポーザル方式の積極的な採用の継続（東）
- プロポーザル方式の採用の増加（中・西）
- 業務内容に応じた適切なプロポーザル方式・総合評価落札方式の選定（中・西）
- プロポーザル方式・総合評価落札方式の適確な運用・改善
- 管理技術者の持ち手業務制限の緩和措置（首）

III. 品質の確保・向上

- (1) 受発注者それぞれの役割を踏まえたエラー防止への取組み
 - ① 受発注者合同現地踏査の実施（東・中）
 - ② 受発注者が工程・問題点を共通認識するために特記仕様書等による設計条件明示の徹底（首）
 - ③ 品質確保・向上に資する施策の継続的な改善（首）
- (2) 基本設計・詳細設計及び三者会議等における総合的な品質の確保
 - ① 歩掛構成の根拠となっている内容に応じた基本設計の業務内容限定列挙（東）
 - ② 詳細設計における各工種の設計目的・設計条件・成果内容の明確化と適切な費用計上（東・中・西・首）
 - ③ 三者会議を含めた詳細設計から工事に至る段階における追加業務や修正設計の適切な実施と費用計上（東）
 - ④ 基本設計における条件が確定していない付属物や仮設図等の扱い（西）
- (3) 維持管理・更新事業等における技術的課題解消に向けた発注契約方式などの改善
 - ① 設計者・施工者連携方式の検討等合理的な入札契約制度の選定（東・中・西）
 - ② 新設道路の設計と異なる内容に応じた設計業務の積算体系の整備（東・中・西）
 - ③ 維持管理・更新事業等での建設コンサルタントのより一層の活用の検討（首）
- (4) 中長期的な業務全体のIT化、デジタル化（東・中・西）

IV. 施工管理業務の改善

- 施工管理の労働環境の改善及び業務の効率化
 - ① 担い手の確保（東）
 - ② 働き方改革（東）
 - ③ 残業時間の削減（中・西）
 - ④ 施工管理員のテレワークの導入（中・西）
 - ⑤ 設計から工事発注までの業務の流れの見直し（中・西）
 - ⑥ より少ない施工管理員で業務実施ができる業務改善（中・西）
 - ⑦ 施工管理員の育成（中・西）

4. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。

（対外活動委員会WG（道路会社）WG長

江守 昌弘）